

ひろばちがさき

No. 1082 2015年2月27日 新政ちがさき

茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1 茅ヶ崎市役所内 TEL0467(82)1111

議会の様子は茅ヶ崎市議会のホームページから映像配信されています

新政ちがさき有志

岸 正 明 87-8766

こいそ妙子 52-6731

和 田 清 84-9969

よしかわ和夫 86-0032

早川ひとみ 52-8361

こいそ妙子は、2015年第1回定例市議会、2月24日に、市長の施政方針等について新政ちがさきを代表して総括質疑を行いました。質問は総合計画、自治基本条例、放射能対策など12項目になりますがその中から防災と次世代育成について概要をお伝えします。

自主防災組織活動への支援について、

こいそ 減災に向けて地域住民全体の防災意識が重要である。自主防災活動マニュアルを住民一人一人にまで周知するための支援は？

市長 各地区でマニュアル作成が進んでいるが、さらに地域に即した支援として、これまで12地区で実施されてきた連合会の防災訓練に加え、自治会単位や組単位という訓練の細分化を計画している組織に対し市職員が訓練の企画段階から助言や提案を行う。

また自主防災組織が行う意識啓発のための防災講演等にも活用できるよう防災資器材整備費補助金の改正を実施する。

こいそ 各自主防災組織で整備が進んでいる無線装置の活用についての支援は？

市長 簡易無線機は災害時に地域の住民が組織的に活動するのに重要な通信機器である。

地区自治会連合会防災訓練補助金を活用できるようにし、またチャンネルの調整など運用方法等を検討していきたい。

保育園の待機児童解消は・・・

こいそ 子育て新制度に基づく計画で、待機児童の解消、特に低年齢児の解消は進むか？

市長 本市の待機児童は26年10月1日現在625人と依然多く、なかでも0歳から2歳児までが546人となっている。今後、浜見平保育園の移転による増、認可保育園の新設、認可外保育園の認可化等により497人増、さらに認定こども園の新設で60人定員増を予定している。この結果、3歳から5歳までは解消が見込めるが、0歳から2歳の低年齢児が依然として多い状況である。この対応として3歳未満の保育が可能な小規模保育事業や民間企業による事業所内保育など低年齢児に特化した事業を実施するための施設整備を行う。既存の認可保育所については定員を超えて0歳～2歳の子どもを受け入れるための保育士雇用経費などに県の補助制度を活用し、待機児度の解消に努める。

